

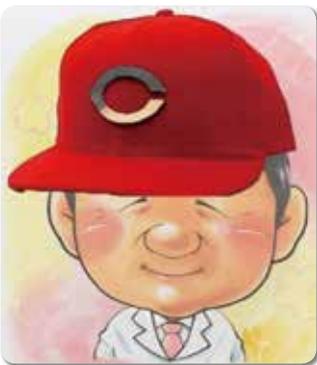
56回生 入学式 4月5日



今年は男子学生11名を含め
81名の仲間を迎えました



学校長あいさつ



皆さん、こんにちは。元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。
今年もカーブはセリーグ優勝しました！！ 破竹の3連覇です！！
今年こそ全国制覇！！と意気込むのはクレカン卒業生も同じだと思います。
さて、今年7月には西日本豪雨災害が発生しました。呉看護学校設備に直接的被害はありませんでしたが、自宅損壊や通学経路の分断という被害に多くの学生が遭遇しました。皆さんの中にも何らかの被害を被った方がいるでしょう。クレカンのキーワード『LOVE and SMILES』、『和顔愛語』を胸に抱き、種々の困難を乗り越えてご活躍されますことを願っています。

国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長
呉医療センター・中国がんセンター 院長
谷山 清己



はじめまして

平成30年4月、副学校長として着任いたしました。いくつかの機構病院（国立病院）附属の看護学校での勤務をとおして学校共通の雰囲気を感じています。それは①優れた看護実践能力②へこたれない強さ③協調・協働できるしなやかさです。そして、スポーツ交流大会、学校祭、宿泊研修（1年生）などなどめまぐるしい程のイベント（多重課題）に教員の力を借りつつ全力で取り組む姿はお見事です。昭和38年に開校後、偉大な先輩方が築き上げられた呉看護学校の歴史にかなり恐縮しております。どうぞよろしくお願いいたします。

副学校長 山下久美子

スポーツ交流大会

1 2 3

2年 応援団 栗栖 莉央

今年は、去年の振り付けを基に移動などの動きの工夫を取り入れた踊りにしました。全員の動きを揃えていくのは難しく悩むことも多かったのですが、昼、放課後、夜と応援団の練習に多くの時間を注ぎたくさんの練習を重ね、本番が近づくにつれ踊りも声も、みんなの心が1つになっていくのを感じていました。去年の優勝には届かず、準優勝という悔しい結果となりましたが、男子による力強い太鼓と力強い旗、踊り子による迫力のある踊りを、呉看応援団としてスポーツ交流会で披露することができました。



1年 応援団 由良 雅

先輩に教わりながら振り付けを覚えるところから始め、動きをピッタリ合わせるまでにたくさんの練習を重ねました。はじめてのスポーツ交流大会で、大勢の方々に見ていただくので本番はとても緊張しましたが、今までの練習の成果を発揮することができました。結果は2位でしたが、今年の悔しさをバネにして来年は1位奪還目指して頑張ります。



第53回学校祭

2年 実行委員長 松村 涉

今回の学校祭のテーマは「[continue to challenge the dreams～夢への挑戦～]とし、学生一人ひとりの心に残るような学校祭を目指しました。学校祭当日は300名余りの方が来場して下さいました。屋台やバザー、茶道部のお茶会、学生が普段勉強している看護技術として2、3年生が手浴や足浴、健康診断を行い、1年生は毎年恒例のお化け屋敷を開催し、楽しんで頂く事が出来ました。学校祭は、学生だけではなく地域の方々にも楽しんでいただく事ができ非常に嬉しく思います。学校祭の企画、運営することは大変な事でしたが、学年を超えて絆を強める事が出来ました。そして私自身、リーダーとして運営を行い、仲間と協力し無事に学校祭を成し遂げる事を、経験できた事が非常に貴重な体験となり、自信にもなりました。



1年生 宿泊研修



1年 川本 友佳
2日間人間関係論の宿泊研修へ行きました。まだ入学して1ヶ月くらいで、最初は班の人と話をできるのかと不安がありました。授業に参加するにつれ、色々な話をすることで相手のことを知り、仲良くなれました。私はこの授業を受けることができて本当によかったです。これから1年生みんなで実習や勉強を頑張りたいです。



熱帯夜



今年の夏は異常気象で猛暑でした！寮の気温も高く、先生から冷房のある教室、実習室での睡眠を許可してもらい皆で寝ました！なんだか合宿みたいで楽しい夜を過ごしました！ゴキブリが出たりしたこともあったけど充実した実習室の夜でした！



3年 山村 莉加

西日本豪雨災害



3年 岡谷 茉奈

今回の災害を通して親のありがたみを改めて実感しました。父は仕事があるなか、終わったらすぐに来て作業してくれ、母は休まず毎日家の復旧作業をしながらボランティアの人たちへの声掛けも頻繁にしていました。周りに感謝の気持ちを持って日々過ごすとともに、今回の災害から被災した私たちの様に不安や苦痛のある人々に寄り添える看護を行なっていきたいです。



呉市は断水や土砂崩れによる交通網の分断で甚大な被害を受けました。寮生は災害支援活動で大変な病院に赴き、病院ボランティアを行いました。



お見舞いをいただきました

NHO四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校の教職員および学生の皆さまから、豪雨災害のお見舞いということで、「諸願が成就する総本山善通寺のお守りと、皆さまの幸せを願う気持ちを込めた色紙」をいただきました。みなさんの気持ちがこもった色紙と素敵なお守りに、とても心が温まり、これからもこの恵まれた環境に感謝し、日々精進し、看護師を志そうと改めて感じました。



卒業生より



糀屋 皐 6 B病棟

6 B病棟は消化器内科で、検査後の急性期患者さんからがんなどの終末期患者さんまでの幅広い患者さんがいらっしゃいます。

就職して半年が経ち、初めはわからないことばかりでしたが、先輩方からの指導により一つずつ仕事を覚えることができます。目の前のことに精一杯になったり、まだまだわからないこともあります。しかし、どんな時もサポートしてくださる先輩方に支えられながら、看護をする楽しさを感じ日々過ごしています。また、未熟な私に優しく声をかけてくださったり笑顔をくださる患者さんにパワーをもらっています。先輩方や同期、患者さんに支えられながら、今後さらに成長していけるように頑張りたいと思います。



岡本 聡 9 A病棟

9 A病棟は精神科病棟です。入院される患者さんの主な疾患は双極性障害や統合失調症、認知症です。その殆どの方は身体合併を抱えておられるため、様々な身体疾患の看護や処置なども経験できます。入職した時はわからないことばかりで毎日緊張していましたが、患者さんとコミュニケーションをとり、勉強や経験を積む中で、カンファレンスでは積極的に発言できるようになるなど少しずつ成長を感じています。

初めは不安なことも多いかと思いますが、先輩看護師が優しく教えてくださり精神科医師も勉強会やカンファレンスで疾患や治療など丁寧に教えて下さいます。男性看護師も多く和やかな職場ですので、ぜひ一緒に働きましょう。



朝川 治 3 A病棟

私は就職して3年目になる3 A病棟の看護師です。

3 A病棟は呉医療圏の3次救急救命を使命とした救急救命センターで、救急外来を併設し、24時間体制で救急患者の受け入れを行っている病棟です。

急性期にある様々な病態の患者さんの看護を行うということにプレッシャーと責任を感じながらも、自分の行った看護によって日々回復に向かっていく患者さんの姿にやりがいを感じながら成長していけるように努力しています。また、後輩教育にも携わるようになって、いかに先輩にフォローしてもらっていたかが理解でき、後輩看護師にも自分がプリセプターでよかったと思ってもらえるように頑張っています。

これからも患者さんを第一に考えて看護を行っていきたいです。



中垣 友花 東広島医療センター1病棟

私は東広島医療センター1病棟（脳神経内科、腎臓内科、循環器内科）で働いています。混合病棟であり、急性期から回復期まで様々な疾患の患者さんが入院されているため、日々学ぶことも多く、やりがいを感じることができます。51回生からは4名入職しましたが、みんなそれぞれの病棟で頑張っています。東広島医療センターは、ほどよい急性期病院であり、他職種とも交流の多いアットホームな病院です。是非一緒に働きましょう！



編集後記

7月の西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

卒業生の皆様お変わりありませんか？今年は、次々と災害に見舞われ、危機管理と普段の備えの大切さを実感しています。在校生もボランティアに参加しました。まだまだ復興の途上ですが、二次災害の防止に向けて看護職としての大きな役割を実感しています。

編集長：伊藤 由紀枝

編集委員：1年生：吉川 麻沙紀・古賀 遥香・福井 彩良・和田 瑞希

2年生：中山 夢菜・藤尾 朋香・酒井 志瑞・伊地知 萌子

3年生：白駒 沙絵・野高 千恵子・林 亮直・森岡 由羅

